

東京都立学校設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

東京都立学校設置条例施行規則の一部を改正する規則を制定する議案を下記のとおり付議する。

記

1 改正内容

令和 4 年 2 月に策定した「Society5.0 を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト Next Kogyo START Project」に基づき、都立高等学校の学科改編を行うことに伴い、別表（第 3 条関係）中、1 高等学校の項の学科を次のとおり改める。

名 称	課 程	学 科
東京都立科学技術高等学校	全日制	科学技術科、 <u>創造理数科</u>
東京都立中野工科高等学校	全日制 定時制	<u>食品サイエンス科</u> 総合技術科
東京都立杉並工科高等学校	全日制	<u>I T・環境科</u>
東京都立北豊島工科高等学校	全日制 定時制	<u>都市防災技術科</u> 機械科

※下線が改正部分

ただし、東京都立中野工科高等学校の全日制課程のキャリア技術科、東京都立杉並工科高等学校の全日制課程の機械科、電子科及び理工環境科並びに東京都立北豊島工科高等学校の全日制課程の総合技術科は、この規則による改正後の東京都立学校設置条例施行規則別表の規定にかかわらず、この規則の施行の際、現に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、なお存続するものとする。

2 施行期日

公布の日から施行する。

3 その他

- (1) 学科改編の概要等は別紙のとおり。
- (2) 本案決定後、知事に公報掲載を依頼する。

東京都立科学技術高等学校の概要

東京都立科学技術高等学校について、科学技術科の一部を創造理数科に改編する。

1 改編内容

全日制課程の科学技術科の一部を、創造理数科に改編する。

2 学校規模等

全日制1学年6学級 全18学級 630人

科学技術科6学級の一部を創造理数科に改編する。なお、創造理数科の具体的な学級数及び生徒数については、令和6年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等の決定（令和5年10月頃）をもって決定する。

3 改編予定年月日

令和6年4月1日

4 改編の経緯

平成13年4月に開校し、科学技術の特色ある専門教育を展開し、将来の科学者・技術者に向けた資質・能力の育成を図っている。

平成19年度から平成28年度までの10年間、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定を受ける。その後、令和3年度から令和8年度まで、同事業の再指定を受けている。また、平成29年4月に東京都教育委員会より理数研究校の指定、平成30年4月に東京都教育委員会より理数リーディング校の指定を受けている。

学科の改編については、都立高校改革推進計画・新実施計画（第二次）に基づき、23区内に理数科の設置を検討するとした。その後、令和4年2月に策定した「Society5.0を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト Next Kogyo START Project」において、令和6年度に科学技術科の一部を理数に関する学科に改編するとした。

5 創造理数科の教育活動の基本的な方針

- (1) 現在の社会を構成するあらゆる科学技術の根底にある理数系分野の素養の育成に重点を置いた教育課程を編成する。
- (2) あわせて、理数系分野の知識に実社会における意味を与え、価値を具現化するために必要となる情報活用能力等を育成し、情報通信技術及び情報それ自体を実践的に活用するための素養を身に付けさせる。
- (3) 具体的事象の実験・観測等を通じて、真理を探究し、自ら推理・考察することにより、物事の本質を理解しようとする姿勢を育む。
- (4) 人文・社会科学分野や芸術分野を含めた幅広い教養の育成により、豊かな感性と表現力を育み、人間としての豊かさと高い倫理観を養う。
- (5) あらゆる機会を活用して、自らの考えを整理し、言語を媒介として、筋道を立てて他者に伝えるための論理的思考力や言語活用能力等を育成するとともに、他者の考えに耳を傾け、それを吟味し、取り入れることで、自らの考えを更に深めることができる柔軟性・受容性や、新しい発想を生み出すことができる創造性を涵養する。

6 創造理数科において育成を目指す生徒像

- (1) 自らが強みとする分野を軸とした幅広い教養を体系的に修得し、それらを基盤として、分野の垣根を越えた思考を働かせることができる生徒
- (2) 物事を広い視野で多角的に捉えることで、内在する課題を見だし、全体最適化のための道筋を導き出すとともに、その実現に向けて行動することができる生徒
- (3) 各々の考えや立場の違いを前提とした上で、その多様性を尊重し、自己と他者、さらには他者同士をつなぎ、相互理解を促すことができる生徒

東京都立中野工科高等学校の概要

東京都立中野工科高等学校について、キャリア技術科を、食品加工と工業化学を連携させ、食を考える学習を強化する食品サイエンス科に改編する。

1 改編内容

全日制課程のキャリア技術科4学級編成について、食品サイエンス科に改編する。

2 学校規模等

全日制1学年4学級 全12学級 420人

キャリア技術科4学級を食品サイエンス科に改編する。なお、食品サイエンス科の具体的な学級数及び生徒数については、令和6年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等の決定（令和5年10月頃）をもって決定する。

3 改編予定年月日

令和6年4月1日

4 改編の経緯

昭和21年度に開校、昭和25年に東京都立中野工業高等学校と校名変更した。平成29年にエンカレッジスクールに指定を受けキャリア技術科を設置し、現在に至る。

令和4年2月に策定した「Society5.0を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト Next Kogyo START Project」において、産業界における技術革新やDXの推進などに向け、既存の工業系学科を先進的な学科へと発展的にリニューアルすることとしており、東京都立中野工科高等学校においては、これまで学校が培った「食品」の特色を一層強化し、キャリア技術科を、食品加工と工業化学を連携させ、食を考える学習を強化する学科に改編することとした。

5 食品サイエンス科の教育活動の基本的な方針

- (1) エンカレッジスクールとして、1学年では学びなおしと食品工業の基礎を学び、生徒に自信を持たせ、生徒一人ひとりの潜在的な能力を伸ばす。
- (2) 食産業の現場で使われている専門的な技能や技術に関する学びを通じ、実践的な技能を身に付ける。
- (3) 食品の品質向上や安全性確保に関する課題に取り組み、実証的なデータを用いて解決策を見つける課題解決能力を養う。

6 食品サイエンス科において育成を目指す生徒像

- (1) 世界でも有数の豊かな食文化を誇る日本の「食」を工業的に捉え科学的にアプローチし、食産業の発展に貢献できる生徒
- (2) 食品の製造や流通、分析に関する専門知識を持ち、食産業の即戦力として活躍できる生徒

東京都立杉並工科高等学校の概要

東京都立杉並工科高等学校について、機械科、電子科及び理工環境科を、IT教育等を実践し、進学も見据えて環境にかかわる素養をもったIT人材を育成するIT・環境科に改編する。

1 改編内容

全日制課程の機械科、電子科及び理工環境科について、IT・環境科に改編する。

2 学校規模等

全日制1学年4学級 全12学級 420人

機械科2学級、電子科1学級及び理工環境科1学級をIT・環境科に改編する。なお、IT・環境科の具体的な学級数及び生徒数については、令和6年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等の決定（令和5年10月頃）をもって決定する。

3 改編予定年月日

令和6年4月1日

4 改編の経緯

昭和38年度に開校し、機械科、電子科及び工業化学科を設置。平成18年度に工業化学科を理工環境科に改編し、現在に至る。

令和4年2月に策定した「Society5.0を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクトNext Kogyo START Project」において、産業界における技術革新やDXの推進などに向け、既存の工業系学科を先進的な学科へと発展的にリニューアルすることとしており、東京都立杉並工科高等学校においては、機械科、電子科及び理工環境科を、IT教育等を実践し、進学も見据えて環境にかかわる素養をもったIT人材を育成する学科に改編することとした。

5 IT・環境科の教育活動の基本的な方針

- (1) 企業や大学、地域と連携したフィールドワークや特別授業を行い、生きた知識を身に付け、感性を磨く。
- (2) 総合的な探究の時間（課題研究）を3年間の学びの集大成とし、東京が抱える環境問題について、ITスキルを駆使して検証し、解決策を模索する取組を通し、探究的な力を育む。
- (3) 普通教科と専門教科、教育課程外活動を融合した横断的な教育活動を実施し、未来を予測し、新たな発想を生む教養を身に付ける。

6 IT・環境科において育成を目指す生徒像

- (1) ITスキルを習得し、頻繁に現れる新しいテクノロジーやトレンドに対し、持続的な学習意欲を持つことができる生徒
- (2) 環境リテラシーを習得し、人と環境の共存に関わる社会課題に対し、解決するための思考を働かせることができる生徒
- (3) ITスキルと環境リテラシーを兼ね揃え、より専門的で高度な学びを求め、生涯にわたって学び続ける力を持つ生徒

東京都立北豊島工科高等学校の概要

東京都立北豊島工科高等学校について、総合技術科を首都東京の「防災」という観点から教育内容を総合的に充実させる都市防災技術科に改編する。

1 改編内容

全日制課程の総合技術科4学級編成について、都市防災技術科に改編する。

2 学校規模等

全日制1学年4学級 全12学級 420人

総合技術科4学級を都市防災技術科に改編する。なお、都市防災技術科の具体的な学級数及び生徒数については、令和6年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等の決定（令和5年10月頃）をもって決定する。

3 改編予定年月日

令和6年4月1日

4 改編の経緯

大正9年度に開校、昭和18年に東京都立北豊島工業高等学校と校名変更した。平成5年度に各科を廃止して総合技術科を設置し、現在に至る。

令和4年2月に策定した「Society5.0を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト Next Kogyo START Project」において、産業界における技術革新やDXの推進などに向け、既存の工業系学科を先進的な学科へと発展的にリニューアルすることとしており、東京都立北豊島工科高等学校においては、「防災」等の都市課題の解決を通じ、産業界が必要とする課題解決能力を育み、社会で活躍できる人材の素地を育成していくため、総合技術科を、首都東京の「防災」という観点から、学校の教育内容を総合的に充実させる学科に改編することとした。

5 都市防災技術科の教育活動の基本的な方針

- (1) 防災に関わる課題発見から解決方法の立案までを総合的に探究し、探究力や判断力の育成をしながら、学習成果を発表する機会を増やし、表現力を磨く。
- (2) 地域の防災拠点として、自治体と協力して防災に関する課題研究を行うとともに、災害発生時に協働するためのコミュニケーション能力を育む。
- (3) 工業の専門科目だけでなく、普通教科においても防災を題材とした授業を展開し、学校全体として防災に取り組み、都市防災に必要な多様な視点と知識を身に付ける。

6 都市防災技術科において育成を目指す生徒像

- (1) 専門的な知識を身に付け、主体的に都市の防災課題の解決に向け、積極的に挑む姿勢を持つ生徒
- (2) ものづくりの技術を持ち、災害発生時に様々な知識・技術から新しい発想を考案し、生活の復旧に貢献できる生徒

第五十三号議案

東京都立学校設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
東京都立学校設置条例施行規則の一部を改正する規則を次のとおり制定し、公布する。

令和五年七月十三日

東京都教育委員会

東京都立学校設置条例施行規則の一部を改正する規則を公布する。

令和五年 月 日

東京都教育委員会

● 東京都教育委員会規則第 号

東京都立学校設置条例施行規則の一部を改正する規則

東京都立学校設置条例施行規則（昭和三十九年東京都教育委員会規則第六号）の一部を次のように改正する。

別表一の項中

同 科学技術高等学校

全日制

科学技術科

を

同 科学技術高等学校

全日制

科学技術科、創造理数科

に、

同	同	同
杉並工科高等学校	中野工科高等学校	中野工科高等学校
全日制	全日制 定時制	全日制 定時制
科 機械科、電子科、理工環境	食品サイエンス科 総合技術科	キャリア技術科 総合技術科
を	に、	を

同	同	同
北豊島工科高等学校	北豊島工科高等学校	杉並工科高等学校
全日制定時制	全日制定時制	全日制定時制
都市防災技術科 機械科	総合技術科 機械科	I T ・ 環境科
に	を	に、

改める。

附 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 東京都立中野工科高等学校の全日制課程のキャリア技術科、東京都立杉並工科高等学校の全日制課程の機械科、電子科及び理工環境科並びに東京都立北豊島工科高等学校の全日制課程の総合技術科は、この規則による改正後の東京都立学校設置条例施行規則別表の規定にかかわらず、この規則の施行の際、現に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、なお存続するものとする。

(提案理由)

東京都立科学技術高等学校、東京都立中野工科高等学校、東京都立杉並工科高等学校及び東京都立北豊島工科高等学校の学科改編に伴い、学科に係る規定を整備する必要がある。

改正案

現行

第一条から第四条まで（現行のとおり） 別表（第三条関係）			第一条から第四条まで（略） 別表（第三条関係）		
一 高等学校			一 高等学校		
名称	課程	学科	名称	課程	学科
東京都立一橋高等学校から同 深川高等学校まで	（現行のとおり）	（現行のとおり）	東京都立一橋高等学校から同 深川高等学校まで	（略）	（略）
同 科学技術高等学校	全日制	科学技術科、創造 理数科	同 科学技術高等学校	全日制	科学技術科
同墨田工科高等学校から同武 蔵丘高等学校まで	（現行のとおり）	（現行のとおり）	同墨田工科高等学校から同武 蔵丘高等学校まで	（略）	（略）
同 中野工科高等学校	全日制	食品サイエンス科 総合技術科	同 中野工科高等学校	全日制	キャリア技術科 総合技術科
同稔ヶ丘高等学校から同農芸 高等学校まで	（現行のとおり）	（現行のとおり）	同稔ヶ丘高等学校から同農芸 高等学校まで	（略）	（略）
同 杉並工科高等学校	全日制	IT・環境科	同 杉並工科高等学校	全日制	機械科、電子科、 理工環境科
同杉並総合高等学校から同高 島高等学校まで	（現行のとおり）	（現行のとおり）	同杉並総合高等学校から同高 島高等学校まで	（略）	（略）
同 北豊島工科高等学校	全日 定時制	都市防災技術科 機械科	同 北豊島工科高等学校	全日 定時制	総合技術科 機械科

同井草高等学校から同小笠原 高等学校まで	(現行のとおり)	(現行のとおり)
二及び三 (現行のとおり)		
同井草高等学校から同小笠原 高等学校まで	(略)	(略)
二及び三 (略)		